



向後スターチ株式会社

健保組合
加入事業所の
ご紹介
その34

大正時代に始めた、地域密着の甘諸澱粉製造は、作物転換により斜陽となった。しかし新たな発想でトウモロコシを原料に水飴の製造を開始。食品の安全や環境に配慮した製品作りと「お客様の要望に応えたい」という理念の下、さらなる飛躍を目指す。

今回ご紹介する加入事業所は、百年以上の歴史がある老舗の水飴専門メーカーの向後スターチ株式会社です。平昌オリンピック開幕中の2月13日に旭工場を訪ね、向後社長、花澤工場長にお話を伺いました。

サツマイモからトウモロコシへ

旭市飯岡地区はかつてはサツマイモ栽培が盛んだったため、明治時代から澱粉製造業者が多く集まり、甘諸澱粉で作る水飴製造が栄えました。大正元年、



向後 久雄代表取締役社長

現社長の祖父である向後久三郎氏が千葉県海上郡飯岡町（現旭市飯岡）で甘諸澱粉の製造を始めたのが同社の始まりとなります。

昭和25年会社組織として(株)向後澱粉工場を設立し、飯岡工場で水飴製造に着手、また東京都墨田区に千葉商事(株)を開設しました。

39年旭市内に旭工場を建設し甘諸澱粉を製造、翌年水飴製造を飯岡工場から旭工場へ移しました。その頃作物転換でサツマイモが栽培されなくなり、地域の澱粉製造業は衰退しましたが、創業者の久三郎氏はアメリカからより安価なコーンスターチの製造技術が導入されたのを機に澱粉の原料をトウモロコシに切り

替え、42年旭工場でコーンスターチの製造を開始。44年旭工場で甘諸澱粉製造廃止。45年飯岡工場での甘諸澱粉製造も廃止し、以降旭工場でトウモロコシが原料のコーンスターチと水飴を製造し、水飴製造に専念することになりました。

バイオマスボイラー導入で工場全体のCO₂排出量は32%減

平成7年社名を(株)向後澱粉工場から向後スターチ(株)に、また千葉商事(株)から向後スターチ(株)東京営業所に変更しました。14年旭工場がISO9001・2000認証を取得しましたが、さらなる食品の安全・お客様の信頼を得るために27年ISO9001・2000認証は返上し、さらに進化した「食品安全マネジメントシステム」の一つであるFSSC22000認証を取得しました。また環境対策として20年にバイオマスボイラーを導入し、カーボンニュートラルなバイオ



▲糖化工場(右)とトウモロコシサイロ

マス燃料をボイラーで有効利用しています。バイオマス燃料技術、排ガス処理技術を集結しバイオマスエネルギー利用ボイラーを導入したことにより、CO₂排出量は導入前と比較して工場全体で32%削減を達成することができました。

製造過程でサラダ油の原料や飼料に分離

旭工場にはコーンスターチ工場と糖化

工場があります。コーンスターチ工場では5種類の製造品が生産されます。まず

貯蔵されたトウモロコシは異物を除去し浸漬液に漬け、その後粗粉砕、微粉砕、遠心分離でそれぞれ分離されます。粗粉砕で分離されるのはトウモロコシの胚芽の「コーンジャーム」でトウモロコシの6%を占め、微粉砕で分離されるトウモロコシの皮の「グルテンフィード」は16%、遠心分離で分離されるトウモロコシのたんばく質の「グルテンミール」は5%で、それぞれ「コーンサラダ油の原料」、「牛や豚などの家畜の飼料」、「鶏等の家畜の飼料」になります。グルテンミールは含まれるベータカロテンの赤橙色の色

素が鶏卵の黄身の色を良くする効果があります。残りは澱粉の「コーンスターチ」で68%を占めており、洗浄・精製し乳液のまま糖化工場へ移送され水飴となります。他には貯蔵されたトウモロコシを漬けた浸漬液「コーンステイプリカー」があり飼料等の栄養剤となります。作られた飼料の原料は鹿島港の飼料工場へ出荷されています。

生産された水飴はさまざまな商品の甘味料として利用される

糖化工場ではコーンスターチを糖化・精製し水飴を生産しています。糖化製品には「水飴」「ブドウ糖」「異性化糖」があります。同社では水飴に特化しています。水飴の種類と

しては酸で加水分解したブドウ糖が多い「酸糖化水飴」、酵素で加水分解したマルトース分が多くまろやかな甘みの「酵素糖化水飴」があり、これらはキャンディ・菓子類・冷菓・ジャム・乳製品等に利用され、また麦芽酵素で加水分解した麦芽由来の独特な風味と色合いを持つ「麦芽糖化水飴」は和菓子・カステラ・佃煮・たれ等の調味料に利用されています。また国産澱粉を100%使用したKD水飴も製造しています。さらに酸糖化水飴は澱粉の加水分解度の違いで異なる水飴を製造、また酵素糖化水飴はマルトースの含有量の異なる水飴を製造しています。



▲水飴をタンクローリーに積載して出荷

このように同社はコーンスターチのさまざまな分解方法によって、お客様の目的・用途に合わせた水飴を製造することができます。また、出荷形態もローリー車（20t）、1000Lコンテナ車（約1・3t）、25kg缶（一斗缶）に加え、25kg缶は重くて運べないとのお客様の声と工場に直接買いに来られるお客様用に、ヤマパック5kg×3/箱、2kg小缶もご用意しています。「これからお客様の要望に応えていきたい」と向後社

長は話されました。

社長はハーフマラソンに参加 社員の有給休暇消化率も上々

社長の健康管理について伺ったところ、ハーフマラソンに参加されたり、旭市のスポーツジムで汗を流しているそうです。社員の健康管理等を伺ったところ、毎年2月に社員慰労会を開き、親睦を深めているそうです。また、有給休暇の消化率も良く、精神疾患で休む社員はいないとのことでした。14年間労災事故が発生しなかったことで平成18年に中小企業災害防止協会から金賞を受賞しました。一昨年は10年ぶりの出場でしたが、旭市の企業ソフトボール大会で優勝を飾りました。当健保組合の健診事業やインフルエンザ予防接種を利用しており、インフルエンザに罹る人が少なくなったのうれしい結果を伺いました。今後とも当健保組合の保健事業をご活用いただき、健康維持にお役立ていただきたいと思います。

◆ ◆ ◆
お忙しい中、向後社長、花澤工場長には長時間にわたる取材にご協力いただき、誠にありがとうございます。今後とも、長年培われた高い技術力で国内唯一の水飴専門メーカーとして、ますますご発展されることを心よりお祈り申し上げます。

向後スターチ(株)のいろいろな製品



水飴



麦芽水飴

■ 向後スターチ株式会社のホームページ
URL <http://www.kogostch.co.jp/jp/>